

高品質な金属加工品の輸出入で日本と中国の発展に貢献！

山蔣商事 株式会社

【本社】兵庫県相生市汐見台 51-3 【海外拠点】蘇州相城区望亭間渡路 28 号
URL : <https://www.yamashou-trading.com>

『山蔣商事』は日本と中国を拠点に、水系脱脂洗浄機的设计・製造・販売をはじめ、中国で製造した機械・板金加工品などの輸出入、現地日系法人への販売を手掛けている。品質の高さで国内外から信頼を集め、右肩上がりに成長を続けているが、その陰には山本社長の挑戦と並々ならぬ努力があった。本日はダンカン氏が、社長の歩みや事業についてインタビュー。



interviewer
ダンカン



代表取締役社長
山本 浩源



——『山蔣商事』さんの事業内容からお聞かせ下さい。

兵庫県に本社、中国に海外拠点を置き、日中間で貿易を行っています。日本国内においては、インデックス式洗浄機やバジ式洗浄機といった水系脱脂洗浄機をオーダーメイドで設計・製造・販売しています。また、中国では金属や樹脂などの機械加工品、板金加工品を小ロットから製造。それらを日本に輸入して販売したり、現地の日系企業に販売したりしています。加えてエンジン部品や検査機器、ネジ類などの日本製品を中国に輸出・販売させていただくこともあります。

——今、中国はビジネスに欠かせない存在になっていますし、すでに現地で事業を展開されているのは御社の強みの一つですね。起業までの道程を伺っても？

大学時代に第二外国語で中国語を専攻し、卒業後は中国語を活かした仕事がしたいと考えていました。ところが当時は就職氷河期でなかなか思うような仕事が探せず、卒業後はしばらくアルバイトを続けていました。その間に資金を貯めて26歳で単身中国へ。現地の語学学校に1年間通った後、日系の洗浄機メーカーに営業として就職しました。そうして3年ほどノウハウを培う中、独立心が徐々に強まっていきました。独立。まずは中国で事業

を始めました。

——日本での起業でも大変なのに、現地で起業されるとは素晴らしいチャレンジ精神です。お仕事は順調に？

独立当初はまだ人脈や資金がほとんどない上に、中国語も片言でしたから本当に大変でした。ですが分からないことがあればその都度ぶつかりながら覚え、身振り手振りを交えて飛び込み営業を続けてきたんです。お客様からすれば片言の日本人が来て何か営業していると不思議に思っておられたでしょうが(苦笑)、「始めたからにはこの道でやっていくしかない」と必死でしたね。

——不安や失敗を、勇気と努力で乗り越えて来られたわけだ。

そう言っていただけると嬉しいです。今の当社があるのは私の力だけではなく、周囲の方々が支えてくれたからでもあるんですよ。そして少しずつ信頼関係を築いて受注いただくようになり、創業以来右肩上がりに成長を続けられているので本当に嬉しいです。また、私は長男ですから、日本をベースに会社を成長させるべく帰国。2017年に日本でも会社を立ち上げ、今は日本と中国を行ったり来たりして仕事を続けています。

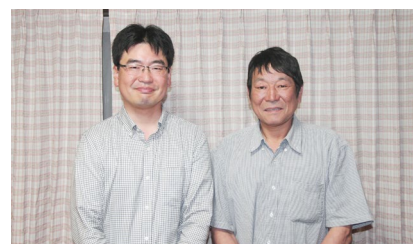
——順風満帆で何よりです。お仕事のやり甲斐はどんな点にありますか。

中国語でやり取りをしながら希望通りの商品をつくって納品した時に、お客様の喜んで下さる姿を見た時ですね。中国語での取引自体に自分がこれまでやってきたことが集約されていると感じますし、お客様、当社、仕入先間で安定して取引できていることも嬉しいです。

——今後も応援しています。最後にこれからの展望を伺います。

当社をさらに成長させ、10年後も生き残れる会社にしていきたい。そして今後もお客様、当社、仕入先が三者一体となって成長を続け、日本と中国の発展を支えていければと考えています。

(2019年4月取材)



「学生時代からの目標だった中国語を使った仕事に就くという目標のさらに一歩先となる、現地での事業展開を実現されている山本社長。今後も挑戦心と努力を忘れず、日本と中国の架け橋として頑張っていただきたいです」ダンカン・談